

教科	国語	科目	実用国語	年次	2～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		基礎からはじめる 国語の表現力トレーニングノート (大修館書店)					

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で適切かつ効果的に表現する能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにします。 (2) 論理的に考える力や想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高めるとともに、自分の考えを深めることができるようにします。 (3) 言語感覚を磨き、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を育てるとともに、自分自身と向き合い、長所や魅力を発見させることで、自己肯定感、自己有用感を育みます。	
評価の 観点	① 知識・技能	正確な表記、目的や場面に応じた適切な表現など、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。
	② 思考力・判断力・ 表現力	自分の思いや考えを明確にし、読み手に対して効果的に伝わるように描写したり説明したりする力を伸ばし、他者の話や文章に触れて、自分の思いや考えを深めている。
	③ 学びに向かう力・ 人間性等	言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、自分の思いや考えを深め、よりよい表現方法を身に付けようとしている。
評価の 方法	定期考査に加え、提出物（ノート、学習プリント等）、作成した文章やプリントの記述内容などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とし、授業態度や参加姿勢等を、総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 言葉と表記	・表記のきまりを学習するとともに、漢字や送り仮名、慣用表現など、正しい言葉の用い方を習得します。
	2 自分を知る	・自分と向き合い、自分の成功体験や好きなもの、性格、長所、特技などを書き出し、自己分析を行います。
	3 整った文を書く	・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりして、整った文にするための知識を習得します。
	4 シンキングツールを使って文章を書く①	・主にマインドマップを利用して自分の考えを広げ、深めたものを基に、文章を書きます。また、生徒生活体験発表大会の原稿作成にも生かします。
	5 相手に応じた言葉遣い①	・和語・漢語・外来語などの語彙を正しく知り、話し言葉と書き言葉の特徴や役割について理解を深め、相手に応じた使い分けを身に付けます。
	6 わかりやすい文を書く	・句読点を的確に使い、分かりにくい文章やあいまいな文を避ける方法を身に付けます。
	7 文のつながり方	・接続表現や文のつながりについて理解し、的確に文をつなぐための方法を身に付けます。
	8 シンキングツールを使って文章を書く②	・シンキングツールを利用して自分の思いや考えを整理し、既習の事項を基に、テーマに沿った文章を作成します。
後期	9 絵や写真を見て書く	・説明の順序や5W1H、比喩表現など、相手に伝わるように説明する表現を学び、文章でクイズの作問に挑戦します。
	10 語彙力を磨く	・新しい漢字を創作したり、言葉に自分なりの意味を考え出したりするなど、想像力を働かせて活動します。
	11 効果的な自己PR	・自己分析を深化させ、内容が効果的に伝わるように工夫して自己PRを作成します。
	12 キャッチコピーを作る	・自己PRを基に、自分を的確に言い表したキャッチコピーを考え、発表します。
	13 相手に応じた言葉遣い②	・敬語について学習し、場面や相手に応じた言葉遣いを身に付けます。
	14 志望理由を書こう	・志望先と自分に関わる事柄について吟味し、必要な題材を適切に集め、伝えたいことを明確にして志望理由を考え、履歴書を作成します。
	15 通信文を書き分ける	・通信文の形式や正しい表現を身に付け、目的に応じて表現を工夫して、手紙やはがきを作成します。
	16 電話を使いこなす	・相手や自分の立場、目的を考えながら、敬語など適切な言葉遣いをういて、適切な電話対応を身に付けます。